

アルジェリア政治・経済月例報告
(2017年5月)

平成29年7月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 1日、ブーテフリカ大統領はメーデーに際し、直面する課題に対し社会的な平和保持が求められ、購買力の保護が重要であり、政府・経営者・労働者三者の枠組みによる対話は国際的な称賛の的となっている旨声明を発表。
- 4日に投票が行われた国民議会選挙に関し、5日、ベドゥイ内務・地方自治大臣は1次結果として、国民解放戦線（FLN）が57議席減となったが、連立与党民主国民連合（RND）とともに過半数を占め、投票率は38.25%（在外を含めると37.09%）と前回（約43%）よりも低い結果となり、無効票及び白紙票は約2百万票等と発表。
- 8日、憲法評議会は、国民議会選挙1次結果として投票率は35.37%、無効票数は1,757,043、獲得議席数は（1）国民解放戦線（FLN）164、（2）民主国民連合（RND）100、（3）平和のための社会運動（MSP）／変革戦線（FC）同盟33と発表。
- 10日、セラル首相は、今次国民議会選挙で第三党となった平和のための社会運動（MSP）のマクリ党首を政府官邸にて迎え、新内閣に参画するよう提案。
- 18日、憲法評議会は、国民議会選挙の最終確定結果を投票率：35.37%、無効票数：1,778,373、議席獲得数（1）国民解放戦線（FLN）161、（2）民主国民連合（RND）100、（3）平和のための社会運動（MSP）／変革戦線（FC）同盟34等と発表。
- 23日、国民議会にてブハジャ議員が議長に選出。
- 24日、ブーテフリカ大統領、テブン前住宅・都市計画大臣兼商業大臣代行を首相に任命。
- 25日、ブーテフリカ大統領、テブン新内閣閣僚を任命。

2 外交

- 9日付当地政府系紙は、マクロン次期仏大統領宛選挙当選に関するブーテフリカ大統領発祝電を掲載し、同次期大統領のアルジェリア来訪時における植民支配に関するコメントを評価。

- 6日、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣、リビア南部のガト市、及びガダメス市を訪問し、地方議会議員らと会談し、対話によるリビア危機解決に向け協議。
- 8日、リビア近隣11か国外相会合（コブラー国連事務総長特別代表も出席）をアルジェにて開催。
- 9日、シラージュ・リビア首相が来訪し、セラル首相、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談。
- 14日から16日、AFRIPOL（アフリカ警察協力機構）の第1回総会がアルジェにおいて開催され、アフリカ諸国警察責任者、ユーロ・ポール、インターポールを含む地域・国際警察機構の代表らが出席した。今次総会で、AFRIPOL議長（当国ハメル国家警察庁長官、任期2年）他が選出され、AFRIPOLの内規や国内・地域・国際警察協力の枠組みが検討された。

3 治安

- 19日、ベジャイア県シディ・アイシ地区において、国道沿いに仕掛けられていた手製爆弾2個を治安部隊が解体した。現場は交通量の多い国道26号線をベジャイア地区から南西に40キロのシディ・アイシ地区レミラ村付近。1個は国道沿いのモスクの近くに、もう1個は国道路肩に埋められていた。
- 4日、ジジェル県セダト山岳において、軍はテロ対策の一環でテロリスト1人（S. ラクミシ、別称：アブ・エラベス）を殺害し、手製爆弾2個と弾薬多数を押収した。
- 10日、ジジェル県エル・ミリア地区において、軍はテロ対策の一環で情報に基づき待ち伏せを張り、1997年にテログループに加わったテロリスト（B. ルドゥアン、別称：アブ・デール）を殺害し、カラシニコフ小機関銃1丁と大量の弾薬を押収した。
- 12日、アイン・デフラ県タシェタ・ズガガ地区において、軍はテロ対策の一環で情報に基づき待ち伏せを張り、テロリスト1人を殺害し、カラシニコフ小機関銃1丁を押収した。また、同日午後、上記作戦で得た情報に基づき、同県エル・アバディア地区において、さらにテロリスト5人を殺害し、カラシニコフ小機関銃5丁を押収した。
- 19日、スキクダ県コロ地区において、軍はテロ対策の一環で待ち伏せを張り、テロリスト1人（アブデルクリム、別称：ムアド）を殺害し、カラシニコフ小機関銃1丁と弾薬多数を押収するとともに、同県内で手製爆弾3個を発見し破壊した。
- 25日、ベジャイア県アクブー地区において、軍はテロ対策の一環で待ち伏せを張り、テロリスト（L. ファリード、別称：アブデルワハブ・アブ・ヤヒ

ア) を殺害し、カラシニコフ小機関銃1丁と弾薬多数を押収した。

●27日、タマンラセット県シレット（南部国境地帯）において、軍はテロ対策の一環で情報に基づき、テロリスト3人（A. アイッサ、S. マハムード及びJ.B. ブジャマア）を逮捕し、カラシニコフ小機関銃1丁、シモノフ半自動銃1丁及び大量の弾薬を押収した（国防省コミュニケ）。

●31日、ブリダ県ラルバア地区において、テログループがパトロール中の憲兵隊を襲撃し、憲兵隊員4名が軽傷を負った。本件に関しISILが犯行声明を出した。

4 経済

●1日、韓国ヒュンダイとアルジェリアのタフクート社のパートナーシップによってティアレット県のコンビナートで製造された自動車ブランド「ハッチバック・ヒュンダイ」が、メーデーの式典でエル＝ガジ労働大臣ほか政府関係者の前でお披露目された。

●2日、テブン商業大臣代行は生鮮肉の輸入に関する19の許可状に署名した。この19の許可状は20,000トン分の肉の取引に関わるもの。

●7日、サフェックスで第50回アルジェ・国際見本市の開会式が行われ、セラル首相はじめ政府および経済界の要人たちが出席した。出展者は計1030で、494の外国企業が参加した。ロシアが特別招待国として招かれ、日本を含む28の国が公式パビリオンを設けた。

●10日、タッシリ航空のハルシャウイ社長は、米ボーイング社とアルジェリアでの航空機部品・設備の生産開始について交渉を進めていると発表した。この交渉は、タッシリ航空がボーイング737-800型機を3機購入するという交渉の中で出てきたもの。

●10-11日、アリ・ハダット会長率いるアルジェリア経営者フォーラム(FCE)の代表団が、ダブリンを訪れ、アイルランド企業フォーラムと交流。両国経済界の協力関係深化について意見を交わした。

●22日、マグレブ・リージング・アルジェリア(MLA)社はルノー・アルジェリア社と特別パートナー協定を結ぶことで合意した。両者はこの協定により、ルノー・アルジェリア社による自動車製造を促進するとともに、柔軟で有利な融資によってアルジェリアの自動車関連中小企業・産業のネットワークを活性化させたいと考えている。

●30日、新たに任命されたサシ商業大臣は家電製品、携帯電話、化粧品について、2017年の輸入許可の割当量を拡大すると発表した。

5 日本との関係

● 28日、政府系エル・ムジャヒド紙に藤原大使レター「アルジェリアー日本関係：2017年は飛躍の年」を要約した記事が掲載され、本年が我が国とアルジェリアの外交樹立55周年にあたることが言及されるとともに、特に自動車部門への日本企業の投資がアルジェリアの工業化に貢献する旨記載された。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
5月8日	スイス（ジュネーブ）	ラマムラ外務・国際協力大臣	国連人権理事会に出席
5月9日	ドイツ	ラマムラ外務・国際協力大臣	ホイスゲン首相府外交・安全保障担当首相補佐官と会談
5月10日～11日	イラク	ブーテルファ・エネルギー大臣	マアスーム大統領、ルアイビー石油相と会談
5月13日	イタリア	ベンサラ国民評議会議長	ボルドリーニ下院議長と会談
5月15日～17日	赤道ギニア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	AUのC10安保理改革グループ首脳会合に出席。サス・ンゲソ・コンゴ（共）大統領兼リビアに関するAUハイレベル委員会委員長と会談
5月15日～16日	スペイン	ブーテルファ・エネルギー大臣	ナダル・エネルギー観光大臣、ダスティス外相と会談
5月17日	米国	ラマムラ外務・国際協力大臣	ティラソン国務長官他と会談
5月19日	フランス	ハメル警察庁長官	ストック国際刑事警察機構（ICPO）事務局長と会談
5月20日	ヨルダン	ブシュアレブ産業・鉱業大臣	世界経済フォーラム中東・北アフリカ・死海会合出席

5月21日	サウジアラビア	ベンサラ国民評議会議長	米・アラブ・イスラム諸国サミット出席。エセブシ・チュニジア大統領と会談
5月22日～23日	ベルギー	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	モゲリーニEU外務・安保政策上級代表、コブラー国連リビア特使他と会談
5月23日～25日	ロシア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第8回安全保障対話出席
5月24日～25日	オーストリア	ブーテルファ・エネルギー大臣	OPEC非OPEC合意実施フォローアップ高等委員会出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
5月2日	ノルウェー	ブレンデ外務大臣	セラル首相、ラマムラ外務・国際協力大臣、ブーテルファ・エネルギー大臣と会談
5月6日	キューバ	ゴンザレス・キディナ外務第一副大臣	ラマムラ外務・国際協力大臣と会談
5月8日	リビア近隣11か国外相級	(左記の他コブラー国連事務総長特別代表ら関係者)	リビア近隣11か国外相会合に出席
5月8日	スペイン	イグリシヤス警察長官	ベドゥイ内務・地方自治大臣、ハメル警察長官と会談
5月8日	ロシア	モルズーフ産業・貿易大臣	テブン住宅・都市計画大臣兼商業大臣代行と会談
5月9日	リビア	シラージュ首相	セラル首相、メサヘル・マグレブ・A

			U・アラブ連盟大臣 と会談
5月13日～ 14日	アフリカ連合 (AU)	ムーサ・ファキAU委員 会委員長	セラル首相, ラマム ラ外務・国際協力大 臣と会談
5月14日	国連	ラクロワ平和維持活動 局長	ラマムラ外務・国際 協力大臣と会談
5月16日	マリ	クナティ司法大臣	セラル首相と会談
5月21日 ～22日	マレーシア	ダト・シリー・スフィグ ンスワラン上院議長	セラル首相, ベンサ ラ国民評議会議長 他と会談
5月22日	カザフスタン	カマールディーヌーフ 大統領特使	セラル首相と会談

(了)